

# えんがわ

第37号

2010年4月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel.046-852-1182

## 広いところで サービスを

人間が人間らしく生きるために、社会保障制度があります。医療や福祉の在宅サービスもその一つで、住み慣れた家庭や地域で、自分らしく生きるためのものであると云われております。

しかし、本当にそのように制度が活用されているかどうかを、提供する側が常に反省する必要があるのではないのでしょうか。

そのためには利用している方々がいつでも自由に自分の要望が云える環境を整えていかなければなりません。

私も亡夫が病床に臥した時に、在宅訪問サービスを

利用した事があります。一人一人の看護師さんやヘルパーさん達は一生懸命自分の仕事をこなしていらつしやいしましたが、夫は「サービスのおしつけはいやだ」と云っていました。

利用者一人一人のわがままも受け入れられる心の広い専門家になって欲しいものと思っております。

衣笠病院グループ理事長  
室谷 千英



## えんがわ在宅 介護の基本は

### 水分補給

先日、デイサービスに参加されているご利用者との会話の中で、「最近寒いから外に出ないで家でテレビを見ていることが多い」「トイレに立つのがおっくうだし、冬は汗をかかないから、あまりお茶を飲まないようにしている」といったお話を聞きました。

一般的に汗をかきやすい夏の方が、脱水になりやすいといったイメージがありますが、冬から春にかけて、空気の乾燥や暖房機器の使用による湿度の低下、目に見えない皮膚からの水分の蒸発、飲水量の低下など、結果的に脱水の危険性が高くなります。体から水分が不足してくると、「肺炎」

や「膀胱炎」「意識障害」

などを起こしやすくなります。なんとなく元気がなくて、水分不足が疑われるような場合は、わきの下を触ってみてください。湿気が無く、ツルツルとすべするような感じになっている時は、皮膚が乾燥している証拠です。脱水にならないために、高齢者に必要な分量としては、一日一三〇〇から一五〇〇ミリリットルといわれています。夜寝る前にコップ一杯、朝起きたらコップ一杯といったように、日頃からこまめに水分を飲む習慣をつけることが大切です。

葉山町デイサービス  
介護福祉士 九鬼 貴紀

うちのこどもがバイキンマンのお面を怖がっていました。みなさんもバイキンに負けないようにお過ごし下さい。